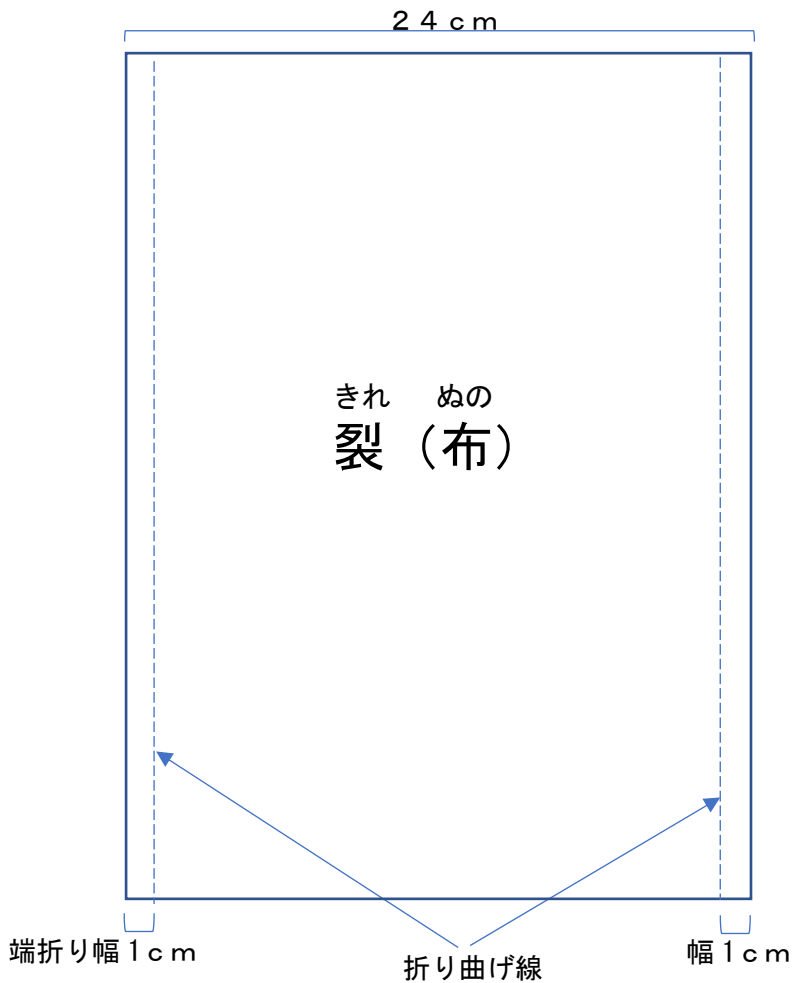


ミニ掛軸の作り方

①裂（布）の準備

寸法通りに裁断

端（みみ、折り曲げしろ）の寸法も忘れずに）



《ポイント》

※裂をキレイな四角形に切りましょう。
細かな連続模様は模様同士を線で結べば直線の目印になります。

※カッターナイフは歯を折って、切れやすい状態で使いましょう。

※カッターナイフは使い方に十分注意して、小さい子の手が届かないところに保管しましょう。

②端（みみ）折り

裏側に折り返す部分を 端（みみ） といいます。

裂のはしから 1 cm のところに印をつけて、
定規をガイドにして、小さい定規で、裂に筋をつけます。

ガイドの定規を動かさずに、小さい定規で折り癖をつけてから、
ガイド定規を離して、しっかり 1 cm の筋を折り曲げます。

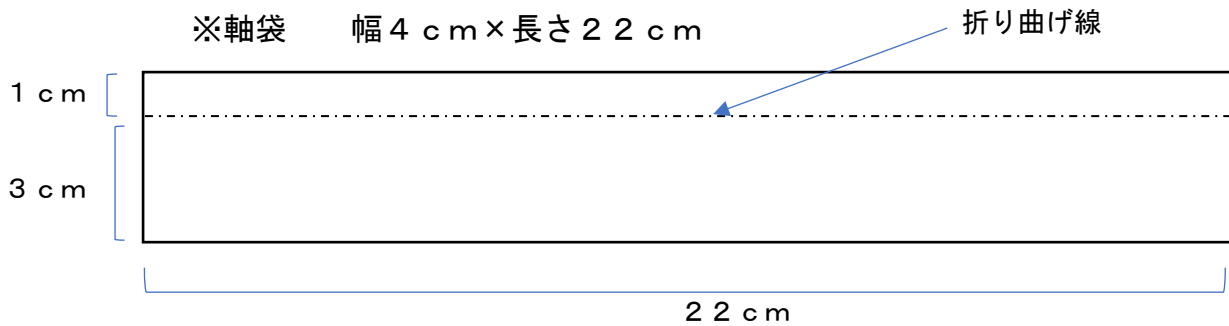
1 cm 幅の両面テープを筋に沿って貼って、
端（みみ）を折り曲げ、筋が歪まないように端を折ります。

小さい定規を使って、しっかり貼り付けます。

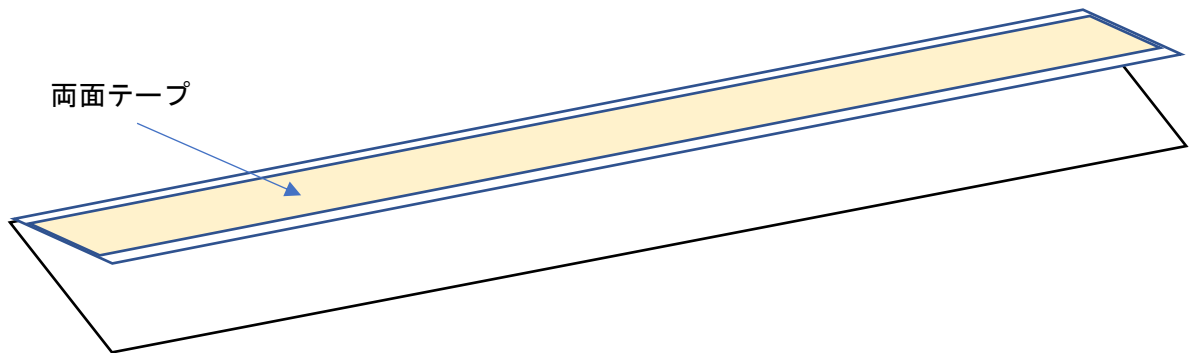
③ 軸袋

美濃紙 又は和紙、(繊維の長い、破れにくい紙が望ましい)

※軸袋 幅4 cm×長さ22 cm

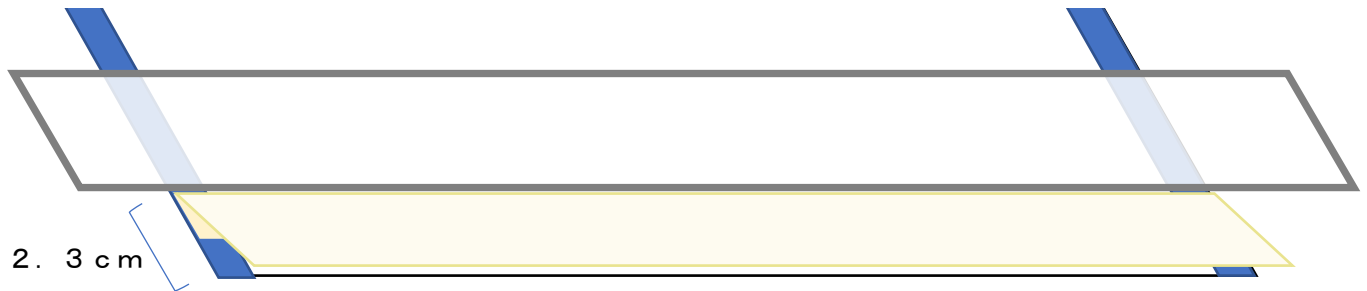


折り曲げ線でおりにまげて、幅の狭い方の外側に、両面テープを貼る。



折りをした裂をうらがし、裂の下から2.4 cmのところに定規を置く。

両面テープの紙テープをめくった軸袋を、下から2.3 cmのところに置いた定規に沿って裂の裏側に、軸袋を付ける。



同じ要領で、上から2 cmのところに、八双袋を取り付ける。

④ 軸棒 と 八双の準備

ホームセンターで購入した、直径15 mmの丸棒と半月型の棒を、のこぎりで切る。

軸先に、色紙や絵具、マジックで色と模様を付けておく。

④ 裏打ち

片面のり付き アイロン式裏打ち紙を、端が2～3mm見える位置に貼る。
現物に合わせて、鉛筆で印をつけて、裏打ち紙を裁断する。
裏打ち紙の方に、霧吹きで湿りを与える。

上下の軸袋を仕込んだ、裂に裏打ち紙の位置を確認しながら置く。
アイロンを温めて、紙がずれないように注意しながら、しっかりと貼り合わせる。

⑤ ヒートンと紐の取付

八双の左右から7cmの位置で、表から目立たない位置に
ヒートンを捻じ込む。

お気に入りの紐を通して、完成。



お正月、節分、ひな祭り、など節句ごとに、色紙を飾るチャンスがあります。
是非、ご自身で、子どもたちと一緒に、掛軸作りに挑戦してみてください。

ご不明な点は、観峰館 古橋までお問い合わせください。
ありがとうございました。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

公益財団法人日本習字教育財団 観峰館 古橋慶三

kampokan@nihon-shuji.or.jp

TEL 0748-48-4141